

大学生のスマートフォンを用いたテキストメッセージングにおける 感情伝達

加藤由樹^{*1}, 加藤尚吾^{*2}

^{*1} 相模女子大学/教育テスト研究センター,

^{*2} 東京女子大学/教育テスト研究センター

2018年秋に大学生を対象にスマートフォンを用いたテキストメッセージングにおける感情伝達に関する実験を実施した。実験では、送信者内の自己の感情の操作、送受信者間の感情伝達の正確性、また感情伝達の確信度に関するデータを収集した。

データを分析した結果、送受信者の両側における様々な感情面に関して、ポジティブ感情とネガティブ感情によって異なる特徴が認められ、そのことが感情伝達の正確さと関係していた。具体的には、ポジティブ感情が生じていたり、相手の感情面をポジティブに捉えるほうが、ネガティブ感情が生じていたり、相手の感情面をネガティブに捉えるよりも、感情伝達の正確さが高まる可能性が示唆された。また、確信度に関しては、全体的に不正確であった。なお、特に確信度については、今後詳細な分析をする必要がある。

以上のように、スマートフォンを用いた文字ベースのコミュニケーションにおける感情のすれ違いに関する基礎的な知見が得られた。本知見が教育現場において情報教育等で応用されることが期待される。

キーワード：情報教育、コミュニケーション、テキストメッセージング、感情伝達

謝辞

実験にあたり、実験者の手配や会場の準備などに関して教育テスト研究センターの多大な助成を得ました。感謝致します。